

令和6年度 第1回白馬村図書館協議会 議事要旨

日時：令和6年7月25日（金）10：00～11：30

場所：白馬村役場 2階 203・204 会議室

区分	氏名	所属	出欠
委員	富山 正明	白馬村社会教育委員長	○
	太田 洋一	白馬村公民館長	—
	本多 希	白馬高等学校	○
	篠崎 千恵	白馬南小学校	○
	高橋 英子	公募委員	○
	伊藤まゆみ	公募委員	○
	戸谷小百合	公募委員	○
	千國幸子	公募委員	—
事務局	松澤 宏和	生涯学習スポーツ課長兼図書館長	○
	松沢 由美子	白馬村図書館司書	○
	大坪 裕子	白馬村図書館司書	○
	大熊 大智	白馬村図書館司書	—
	山岸 由美	白馬中学校図書館司書	○
	海端 弥生	白馬北小学校図書館司書	○
	田中元気	生涯学習スポーツ課生涯学習係長	○

1. 開会

松澤生涯学習スポーツ課長兼図書館長が開会を宣言した。

2. 委員の任命

委嘱状を机上交付し委員の任命を行った。

3. あいさつ

（横川教育長）

図書館等複合施設については一旦先送りとなったが、夢は持ち続けていきたい。来館者数や貸出冊数は前年より増加している。今後も住民ニーズに答えていけるような施設運営をしていきたい。LINE からの図書館利用申請等電子申請もスタートした。ぜひ利用してほ

しい。

4. 自己紹介

委員・事務局が自己紹介を行った。

5. 委員長・副委員長選任

事務局案により委員長に富山正明委員、副委員長に太田洋一委員を推薦し、承認された。

6. 会議事項

(1) 令和5年度の事業報告・利用状況及について

(事務局)

資料1により説明した。

システム更新により開館日数が7日減った。新システムでは検索画面が変わったことや、スマートフォンを図書カードとして利用できるようになった。予約者へのメール配信システムは当初うまく機能していなかったが、最近になり原因が判明し使えるようになった。

デジとしょの利用可能数は使用期限や閲覧上限で日々変動がある。

中高生の職場体験が5日間あった。

統計資料「運営・サービス 26」視聴覚資料数はR4に本来含めるべきでない音楽CDなども含めてしまっていたので、R5に数値が下がっているが本来の数値に戻ったと考えてもらいたい。

(委員)

外国語資料の開架冊数の目標が高すぎるのではないかと考えられるが、図書自体がないのか。

(事務局)

外国語資料の開架冊数がKPIを多く下回っているのは、スペースがなく、利用率の少ない書籍はなかなか表に出せないからで、図書自体は所有している。

(委員)

利用率を増やし目標を達成するために広報はくぼなどでの周知は行っているのか？また、開架されていないものも含めて図書のリストは公開されているのか。

(事務局)

毎月最終ページに図書館だよりを掲載しているが、広報はくぼの読者がほとんど日本人であることや、外国語図書を購入する機会が少ないことや、流行などがわからないため、広

報できていない。図書のリストはインターネットで閲覧できるようになっている。

(委員)

地域課題に関する展示とは具体的にどのような課題を取り扱っているのか。

(事務局)

神城断層地震やオリンピックなど、時事的な内容を取り扱うことが多い。

(委員)

ケーブルテレビ制作番組数は本の紹介などを想定しているのか。

(事務局)

そのようなものや、デジとしよの利用登録など図書の紹介以外の内容も想定しているが、現状できていないため、今後うまく活用できるように検討を進めたい。

(委員)

白馬高校でビブリオバトル（複数人で本を紹介しあい、だれの本を読みたいと思ったか投票する）を行っていた。このようなイベントがあっても面白いと思う。年齢別の利用者数などは出ているのか？その中で少ない年代は把握しているか。

(事務局)

本資料にはないがデータとしては出ている。あくまで図書カードの登録者情報が根拠となる。利用が少ないのは中高生。学校で借りれるためであると思う。

(委員長)

外国語図書の貸し出し冊数は増えている。それなりに需要はあるのだと思う。外国語図書のニーズなどはなかなかわかりそうでわからない。専門の業者などが見つければ良い。

(事務局)

全県で同じ課題は持っていて、それをカバーするためにデジとしよの活用も推進していきたい。デジとしよで外国語図書の選書は軽井沢の司書が対応していたとおもう。

(委員長)

実績としては増えているので、ぜひ軽井沢などに意見を聞きながらどのようにすればよくなるか考えてもらいたい。

(委員)

村内の英語教室などとも連携し外国語図書の選書を行ってみてもよいのでは。図書館に

ある外国語図書はベーシックな絵本が中心で、そこから先英語に興味のある子供などの学習にもつながる。実際この資料を見るまで白馬村図書館委これだけ英語図書があることは知らなかった。幼児教育などで英語を学ばせたいがどのような本を読ませたらいいかわからない保護者などはたくさんいると思う。今の子供たちはクラスにハーフの子がいるのは当たり前環境になっていて、英語に対するハードルも下がっている。それをきっかけに自分もやってみたいと思うような人もいると思うので、図書館に行けばそういった情報に触れることができるようにしてほしい。

(事務局)

中学校では生徒からの提案などで、英語版のハリーポッターなどを入れている。

(委員長)

外国人向けだけではなく、日本人の英語教育向けという考え方で外国語本の活用方法はあると思う。

(事務局)

村の図書館だけで考えず、学校の図書館とも共有しながら進めていければ負担も少なく進めていけると思う。また、図書館ボランティア等の活用も含めて検討していきたい。

(委員)

除籍した本はどのようにしているのか。

(事務局)

リサイクルや処分、他の図書館で引き受けてもらえるものは受けてもらっている。

(委員)

他市町村で自由に持ち出したりできるような運用をしている例もあるので、そのようなことはできないのか。

(委員長)

自由に持ち出しできるスペースを作ると本を置いていく人がたくさん出てしまう。常に監視できればいいがそうでないと本が増えていってしまう。イベントなど目の届くやり方であればいいが、自由には難しい。

7. 令和6年度白馬村図書館事業計画について

(事務局)

資料2により説明した。

(委員長)

読み聞かせはなくなってしまったのか。

(事務局)

会が解散してしまってできなくなってしまっている。

8. 白馬村図書館等複合施設について

(事務局)

資料により説明した。

(委員)

複合施設の検討委員会立ち上げからずっとかかわってきている。今まで費やしてきた費用や時間を無駄にしないよう、図書館建設がうまくいくように見守っていきたい。

9. 閉会

松澤生涯学習スポーツ課長兼図書館長が閉会を宣言した。